

科目名	病理学概論 2							年度	2026
英語科目名	Overview of Pathology 2							学期	後期
学科・学年	鍼灸科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大下裕之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】
「炎症」「腫瘍」「免疫異常」「先天性異常」について学習する。そしてそれらが疾病の発症にどのように関わっていくのかを理解し、生理学や臨床医学各論と結び付け病態を総合的に理解できることを最終目標とする。

【科目の概要】
疾病の成り立ちを理解するために、炎症、腫瘍、免疫異常、先天性異常など病理学の基礎について学びます。

- 【到達目標】**
- A. 炎症の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。
 - B. 腫瘍の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。
 - C. 免疫異常の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。
 - D. 先天性異常の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。

【授業の注意点】
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	炎症の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。	炎症の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。	炎症の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。	炎症の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。	炎症の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。
到達目標 B	腫瘍の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。	腫瘍の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。	腫瘍の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。	腫瘍の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。	腫瘍の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。
到達目標 C	免疫異常の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。	免疫異常の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。	免疫異常の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。	免疫異常の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。	免疫異常の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。
到達目標 D	免疫異常の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。	免疫異常の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。	免疫異常の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。	免疫異常の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。	免疫異常の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。
到達目標 E					

【教科書】
病理学概論（医歯薬出版社）

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
中間試験・期末試験で評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		病理学概論 2			年度	2026	
英語表記		Overview of Pathology 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	炎症	炎症の局所変化を理解する	1 炎症の定義	炎症の定義を理解できる	3		
			2 局所病変	局所の変化や四徴候の発現機序を理解できる			
各炎症の特徴を理解する		1 変質性炎	変質性炎について理解できる	3			
		2 滲出性炎	5種類の滲出性炎について特徴を理解できる				
		1 増殖性炎	増殖性炎について理解できる				
3		2 特異性炎	特異性炎の定義とその代表的な疾患を理解できる	3			
4		腫瘍	腫瘍の組織形態を理解する	1 腫瘍の組織形態	腫瘍の組織形態を理解できる	3	
				2 腫瘍細胞の特徴	腫瘍細胞の特徴を理解できる		
腫瘍の原因と身体への影響について理解する	1 癌の潜伏期		癌の潜伏期について理解できる	3			
	2 腫瘍の生体への影響		腫瘍が及ぼす生体への影響について理解できる				
	3 腫瘍の発生病因		腫瘍の発生病因を理解できる				
6	良性腫瘍の種類とその特徴を理解する		1 上皮性良性腫瘍	上皮性良性腫瘍の特徴を理解できる	3		
	2 非上皮性良性腫瘍		非上皮性良性腫瘍の特徴を理解できる				
7	悪性腫瘍の種類とその特徴を理解する		1 上皮性悪性腫瘍	上皮性悪性腫瘍の特徴を理解できる	3		
			2 非上皮性悪性腫瘍	非上皮性悪性腫瘍の特徴を理解できる			
8	免疫異常	正常な免疫機構を理解する	1 自然免疫	自然免疫の担当細胞とその働きを理解できる	3		
			2 獲得免疫	獲得免疫の担当細胞とその働きを理解できる			
9		免疫不全について理解する	1 先天性免疫不全	代表的な先天性免疫不全疾患の特徴が理解できる	3		
			2 後天性免疫不全	後天性免疫不全の発生病因が理解できる			
10		自己免疫疾患について理解する	1 自己免疫の病態	自己免疫の発生病因が理解できる	3		
			2 代表的な疾患	代表的な自己免疫疾患が理解できる			
11		アレルギーについて理解する	1 アレルギーの発現機序	I～V型のアレルギー発現機序が理解できる	3		
			2 代表的な疾患	各アレルギーの代表的な疾患を挙げることが出来る			
12		先天性異常	遺伝病について理解する	1 常染色体優性遺伝	常染色体優性遺伝について理解できる	3	
	2 常染色体劣性遺伝			常染色体劣性遺伝について理解できる			
	3 伴性劣性遺伝			伴性劣性遺伝について理解できる			
13	染色体異常について理解する		1 トリソミー	トリソミーとなる疾患とその染色体構成が理解できる	3		
			2 モノソミー	モノソミーとなる疾患とその染色体構成が理解できる			
			3 染色体構造異常	代表的な疾患とその染色体構成が理解できる			
14	先天性代謝異常について理解する		1 蛋白質代謝異常	代表的な疾患を挙げることができる	3		
			2 糖代謝異常	代表的な疾患を挙げることができる			
			3 脂質代謝異常	代表的な疾患を挙げることができる			
15	先天性奇形について理解する	1 奇形の原因	奇形の主な原因を挙げることができる	3			
		2 奇形成立の臨界期	奇形成立の臨界期が理解できる				
		3 奇形の種類	奇形の種類とその特徴が理解できる				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等